

★新着ニュース



下関市立大学PBLで
学生がハロウィン用かぼちゃの振興を協議

下関農林事務所農業部

下関市立大学で7月13日（金）、学生と生産者がハロウィン用かぼちゃの振興について協議を行いました。

下関市立大学は本年度、県花卉農協の応募したPBL（プロジェクト遂行型の授業科目）を採用し、「ハロウィンかぼちゃの需要創出に効果的なイベントプロデュース」をテーマに授業が開始されたところです。

ハロウィンかぼちゃは現在、地元等のお祭りで「ランタンづくり教室」の材料とされ、多くの子ども達に喜ばれていますが、生産規模は小さく供給が不安定です。また「ランタンづくり教室」だけでは需要量が限られるため、ハロウィンブームを追い風に更なる需要拡大を図り、計画的な生産につなげる必要があります。

当日は有志の学生6名が、農林事務所や生産者からこうした状況説明をうけた後、生産者・客・主催者それぞれのメリットとデメリットについて自分の考えを出し合いました。意見を出すための手法として、ブレインストーミングを行いました。学生から多数の意見が出され、協議は大いに盛り上がりました。

今後、学生はほ場でのかぼちゃ収穫や、ランタンづくり教室での接客等を経験し、新たな取組を考案し自らチャレンジしていきます。

農林事務所は、これからもハロウィンかぼちゃの産地と下関市立大生との協働を促進し、産地振興を図っていきます。



【話し合いの様子】



【ブレインストーミングでの意見出し】

《お問い合わせ先》

下関農林事務所農業部

TEL : 083-766-1206 FAX : 083-766-1184 メール : a17107@pref.yamaguchi.lg.jp